

編集後記

つい最近「好きな言葉」を書く企画があり、色々な言葉に思いをめぐらしたので2つ紹介させていただきたい。実際に原稿にしたのは“Never unprepared”である。ずいぶん前に先輩から教えてもらった言葉で、イギリスの大学を訪問された際に学内の壁に書かれてあった言葉と聞いた。その後、この言葉の由来を調べたところ、スコットランドのジョンストン部族の家訓であることがわかった。長らくイングランドと交戦してきたスコットランドでは敵の来襲を速く伝えて、戦いに備えることが重要であった。ある日、スコットランドは不意を突かれるのだが、常日頃準備をしていたジョン・ジョンストンが敵の来襲をいち早く伝えたことで敵を押し返し、危機を脱することができた。その後、ジョン・ジョンストンの末裔であるジョンストン部族の家訓は“Never unprepared”になったとのことである。日本語に訳すれば「常日頃から準備を怠らない」や「十分に準備して事に臨む」になるだろうか。私自身はギリギリになってやっと重たい腰を上げる方なので、自分への叱咤として「好きな言葉」として挙げてきた。

もう1つは“The best way to escape from a problem is to solve it”である。私の同僚の机の上に長らく座右の銘として掲げられていて、横目に見ながら、響く言葉として私の心にも残っていた。誰しも嫌なこと、面倒臭いことはやりたくないし、先送りしたいものであるが、見て見ぬふりをしてしまうと何倍にも難しい問題となって返ってくることはよく経験する。嫌

なことほど先に解決する姿勢を持ちたいものである。自身の小事から、果ては日本の財政まで思いが及ぶが、それはさすがに話が大き過ぎるか。

さて、今月の特集は畑 幸彦先生にご立案いただいた「肩関節拘縮（凍結肩）の診断・治療」である。通読させていただき、画像診断、動態、理学的治療から微小血管塞栓術、鏡視下授動術まで網羅されており、大変勉強になった。中でも浜田純一郎先生の拘縮肩と凍結肩の定義や用語の変遷についての総説は興味深い。「五十肩」という名称は既に江戸時代の文献に登場すること、昭和12年の時点で神中正一先生の話の中に「所謂五十肩」が出てきており、「肩関節周囲炎」が適当な病名だろうと述べられていること、その後、さまざまな概念や分類が登場していることが紹介されている。現在、日本肩関節学会は拘縮があれば「拘縮肩」、原因が不明な拘縮肩のみを「凍結肩」と呼ぶ方針になっているので、私も学生や若い先生に正確に教えなくてはと思う。

肩関節拘縮（凍結肩）は整形外科医であれば必ず遭遇する身近な疾患である。しかしながら、その病態を詳しく語れるかと言うとなかなか難しいのが実情ではないだろうか？ 本特集では用語から具体的な治療法までを幅広く記載いただいた。肩関節拘縮（凍結肩）の最新知見に触れていただき、読者の日常診療に役立つことを期待する。

(中島康晴)

「整形・災害外科」第64巻 第13号（12月号） 2021年12月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 44,660 円（本体 40,600 円＋税 10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。